

平成22年度「情報公開条例」の運用状況

市情報公開条例の規定に基づき、平成22年4月から平成23年3月までに受け付けた公文書の開示請求などの状況をお知らせします。

◆情報公開条例による公文書の開示請求件数

実施機関の名称	開示の請求件数	開示の決定件数	部分開示決定件数	非開示決定件数	不服申立件数
市長	1	0	0	1	0
教育委員会	0	0	0	0	0
合計	1	0	0	1	0

選挙管理委員会、監査委員、農業委員会、固定資産評価審査委員会および議会については、開示の請求がありませんでした。

部分開示とは、個人に関する情報などの非開示情報部分を除いて公文書の一部を開示するものです。開示対象は旧2町の条例施行日以降に作成され、または取得した公文書です。

◆開示の状況

公文書の件名	開示の状況
1 親族（死亡）の転入届・印鑑登録申請書およびその各提出書類	非開示

問い合わせ先 総務課 総務・男女共同参画班（合志庁舎） ☎248-1112

平成22年度「市政への提案」の提案状況

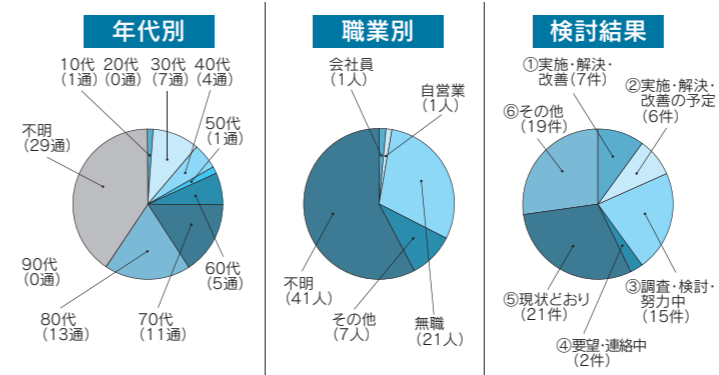
「市政への提案」は、市民の皆さんの声を市政に反映させるためのものです。よりよいまちづくりのため、皆さんのご意見やご提案をお待ちしています。

提出方法は、市役所・各支所・コミュニティ施設など市の主な施設に提案箱を設置していますので、備え付けの専用用紙に記入してご提出ください。

●平成22年度の集計結果（平成22年4月～平成23年3月）

71人から70件の提案が寄せられました。

（1件の提案を複数人が連名で提出したケースなどがあるため、人数と件数が異なります。）



●主な提案内容

- 環境対策（ごみ対策など）
- 子育て支援の充実（保育園、各種助成など）
- 交通政策（環状バスなど）
- 各施設の管理運営

●提案により改善を行なったもの

- 施設の修繕
- 環境整備

問い合わせ先 企画課 情報広報班（合志庁舎） ☎248-1977

東日本大震災復興支援活動

本市からも被災地への人的支援として、3人の職員を派遣し、ボランティアセンターの事務業務や健康対策業務など支援活動を行ないました。実際に被災地を見た現状をレポートします。



- ① 災害復旧箇所データ管理作業
- ② 支援物資仕分け作業
- ③ 各支援団体代表者会議

復興の鍵を握るのは次世代の若者！



県行政派遣団は東松島市役所で災害関係手続きの受付業務を行ないました。どの窓口も大混雑でしたが長時間待たされても整然と待っている東北の人の我慢強さに感心しました。窓口に小学生の女の子が並んでいたのを見て、津波で両親を亡くしたので、災害弔慰金を申請に来たとのこと、我が子とだぶって涙が止まりませんでした。

「被災者はいつまでも泣いてはいられない。気丈に必死に頑張っている」と市役所の職員も震災後一日も休まず対応に追われていました。熊本に帰る前日、ボランティア活動を手伝っていた地元の高校生たちが「僕たちが復興させますから、3年後にまた東北を見に来てください。」とお礼の言葉をかけてくれました。被災地は震災から50日が過ぎ被災者の心のケア、ガレキの撤去、ライフラインの復旧、生活再建など多くの課題を抱えています。純粋にふるさとを思う若い人たちが居ることに少し救われた気持ちになりました。彼等が成人した3年後、是非もう一度この目で見てみたいと思いました。がんばれ東北！

震災地での保健医療の大切さを痛感

県保健・医療支援チームとして南三陸町に入りました。実際の惨状は想像を絶する壊滅的なものであり、見わたす限り瓦礫の山に心が痛みました。医療チームと保健チームに分かれ活動しました。医療チームでは、南三陸町から町外避難所（登米市）に避難した人のこころのケアをしている精神科医療の診察介助にあたりました。診療の多くは、ナイトメア（悪夢）による不眠の訴えで、睡眠剤の処方がある程度でした。家族を亡くされた人が多く、「今まで我慢していたが、もう無理」と心情的に話に来られ、地元医療機関での長期的な経過観察が必要だと感じました。保健チームでは、避難所を巡り健康相談などを行っていました。意欲がなく、日中は横になっている人が多く、心身の活動が低下するおそれがあると感じました。避難所の環境も場所によって差があり、600人以上の避難者がいる南三陸町のベイサイドアリーナでは水がないので、排泄物の処理ができない、十分な手洗いができないため感染症の発生に注意が払われていました。



▲いまだにがれきの撤去が進んでいない地域も多い。

東日本大震災の義援金について

皆様のご支援により
5月16日現在、
20,319,298円の
義援金が
寄せられています。

今回、支援活動を通して、対策本部での早期の現状把握と采配がいかにかが考えさせられました。